

ブラジル・西アマゾンにおける アグロフォレストリーカカオの付加価値向上 および気候変動適応能力向上事業

〒103-0004
東京都中央区東日本橋2丁目28番4号
日本橋CETビル 2階
<https://www.facebook.com/curuminjapao/>



つづける助成

1年目

実践



地元のカカオ工房と協働で行った研修の様子

研修参加者累計 **89人**

簡易灌漑設備の
パイロット設置 **3軒**

今年度計画の達成度 **90%**

活動の全体目標に対する
達成度 **50%**

課題

森の番人である農民の現金収入を求めた都市への流出が森林破壊の誘因となる。また、気候変動の影響とみられる水害や干ばつの多発は、農民の状況をさらに厳しくしている。

目標

- アグロフォレストリーで栽培されたカカオが高付加価値作物となる。
- 気候変動適応能力が向上する。

活動内容と成果

- 研修を実施し、30軒のカカオの栽培技術が向上し、高品質の発酵・加工済みカカオの生産ができる農家が5軒増えた。
- 高品質カカオを日本のカカオ卸業者へ530kg販売。マナウスのチョコレート

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

カカオの高付加価値化：技術的な問題に加え、これまで近代産業がなかった地域においてはビジネスの文化が欠如している。

■ 工夫した点

農家のカカオ豆を使ってチョコレートを作り、試食してもらうことで質の向上へのモチベーションや参加者意識を高めた。



ト工房とともに発酵指導を行い、来シーズンの買収が決まった。

- 氾濫原農家向け高台農業技術研修が実施され、31名の農家が参加した。
- 高台において3軒の簡易灌漑設備がパイロット設置された。
- 水害被害を受けた23軒のアグロフォレストリー農場が再整備された。



簡易灌漑設備

今後の展望

当該地域では、この一年で違法な金採掘に従事する者が急増し、水銀による環境汚染への懸念が高まっている。環境保全型農業による収入向上の必要性が高まっており、地元の人材を育てながら新たな産業の芽生えを目指す。